



被災地の復興に向けて

被災地支援活動を実施

3月11日の地震発生から11月11日で8カ月が経過した東日本大震災。南丹市では、地震発生直後から、物的支援や人的支援などさまざまな支援活動を行ってきました。これまでの活動について報告します。

南丹市では、災害発生直後から京都府や京都府市長会などと連携を図りながら、給水活動や教育現場への支援、保健師の派遣を行ってきました。また、全町民が避難されている福島県浪江町へは、仮設住宅入居申請書の確認や割り当て、申請・入居に関する連絡など、市町村業務に対する支援を行っています。今回の震災に関連して派遣した職員の数は、61人（10月23日現在）になります。

○給水活動への派遣

- ・派遣先 岩手県陸前高田市
- ・体制 7班（1班3～4人）
25人を派遣
- ・期間 3月30日～6月1日
（ただし、4月15日～5月12日の間を除く）
- 保健師の派遣
- ・派遣先 福島県会津若松市
- ・体制 3班・3人を派遣



▲仮設住宅の検査を手伝う南丹市職員

○教育支援への派遣

- ・派遣先 福島県新地町および馬市
- ・人員 1人
- ・期間 7月5日～11日

・期間 4月8日～5月7日
（ただし、4月14日～19日および4月26日～5月1日の間を除く）

- 市町村業務支援への派遣
- ・派遣先 福島県二本松市
（福島県浪江町役場）
- ・体制 16班（1班2人）
32人を派遣
- ・期間 5月9日～10月23日
（ただし、8月15日～20日の間を除く）

■物資支援

被災された方への生活支援の一環として、3月28日から4月7日の間、支援物資の受付を行い、市民の皆さんからお預かりした物資を、京都府を通じて被災地へ送付させていただきました。また、サージカルマスク9600枚を南相馬市へ直接送付しました。あわせて消防車を東松島市へ1台、亘理町へ2台提供しました。

○送付した物資

物 品	数 量
缶詰	327缶
簡易味噌汁など	1,937個
缶ジュース	579本
栄養調整食品	68個
カップラーメン	249食
レトルト食品	30食
漬物パック	920個
味付け海苔パック	385個
魚肉ソーセージ	120本
佃煮瓶詰め	45個

■義援金

3月15日から、被災された方への義援金を募り、本庁および各支所に募金箱を設置しました。10月28日現在の義援金総額は、622万6457円です。